

小規模保育園（企業主導型）のメリットとデメリット

みらいっこ保育園・みらいっこ園くるみ

0~3歳までの育ちがその後の成長の基礎になる（人生の土台づくり）

0~3歳までの乳幼児保育では小規模保育所が適している。



小規模保育園の一般的なメリット

☆0~2歳児に特化した小規模保育のため、保育士の専門的能力が蓄積・発揮される。

☆保育士の配置数が多いので、目と手が届く保育が可能。

☆園児に対する保育士が多いので、園児や保護者との関わりが密になる。

☆園児一人ひとりに目が向けられるので、個別の発達を捉えられる。

☆保護者対応に時間が取れるので、相談しやすく連携が取れやすい。

☆異年齢の子ども同士のかかわりが持てるので、豊かな心が育まれる。

☆大きな行事がないので、保育に集中でき、園児・保護者・保育者の負担が少ない。

☆園長と保育士、保育士相互の関係が近く、チームワークが確保しやすい。

☆今日的には、新型コロナなどの感染症リスクが少ない。



小規模保育園の一般的なデメリット

★就学前まで在園できない。3歳から認可保育園や幼稚園への転園。

★設備が大型保育園のように整っていない。園庭や大型遊具がない。

★園庭代わりに公園などに行く場合、交通事故などのリスクがある。